

平成23年度  
第4回市政モニターアンケート

暴力追放運動について

北九州市市民文化スポーツ局広聴課

## 目 次

調査の概要	1
市政モニターの構成	1
調査結果	2
(1) 民事暴力相談センターの認知度	2
(2) 民事暴力相談センターの活動内容の認知度	3
(3) 活動内容の認知方法	4
(4) 暴力団等から不当な要求を受けた経験の有無	5
(5) 不当な要求を受けた場合の対応	6
(6) 不当な要求を受けた場合誰(どこ)に相談するか	7
(7) 暴力追放の住民運動への協力意向	8
(8) 暴力追放の住民運動に協力したくない理由	9
(9) 暴力団を利用してのもめごと処理についての考え	10
(10) 暴力団の利用を「やむを得ない」「悪くはない」と思う理由	11
(11) 暴力団はどのようにして存在すると思うか	12
(12) 北九州市のイメージについて	13
(13) 北九州市は以前と比べて変わったと思うか	14
(14) 暴力追放についての意見	15
全体考察	17

## I 調査の概要

調査対象者	市政モニター	150人
回答者数	140人	(回収率 93.3%)
調査実施日	平成23年7月20日～平成23年8月4日	
実施方法	調査票による郵送及びインターネット調査	
調査実施課	市民文化スポーツ局広聴課	582-2525
調査依頼課	市民文化スポーツ局民事暴力相談センター	582-2305

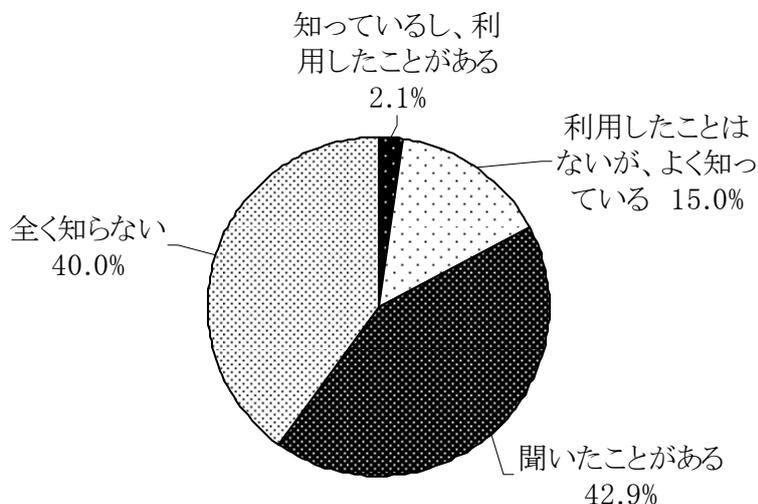
## II 市政モニターの構成

区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	150 (100.0%)	50 (33.3%)	100 (66.7%)	区別			
				門司区	23 (15.3%)	6 (4.0%)	17 (11.3%)
20歳代	21 (14.0%)	5 (3.3%)	16 (10.7%)	小倉北区	28 (18.7%)	7 (4.7%)	21 (14.0%)
30歳代	42 (28.0%)	12 (8.0%)	30 (20.0%)	小倉南区	34 (22.7%)	13 (8.7%)	21 (14.0%)
40歳代	28 (18.7%)	5 (3.3%)	23 (15.3%)	若松区	11 (7.3%)	6 (4.0%)	5 (3.3%)
50歳代	15 (10.0%)	4 (2.7%)	11 (7.3%)	八幡東区	12 (8.0%)	4 (2.7%)	8 (5.3%)
60歳代	25 (16.7%)	12 (8.0%)	13 (8.7%)	八幡西区	35 (23.3%)	11 (7.3%)	24 (16.0%)
70歳以上	19 (12.7%)	12 (8.0%)	7 (4.7%)	戸畑区	7 (4.7%)	3 (2.0%)	4 (2.7%)

数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

### Ⅲ 調査結果

問1 市役所内に「民事暴力相談センター」が設置されていることを知っていますか。

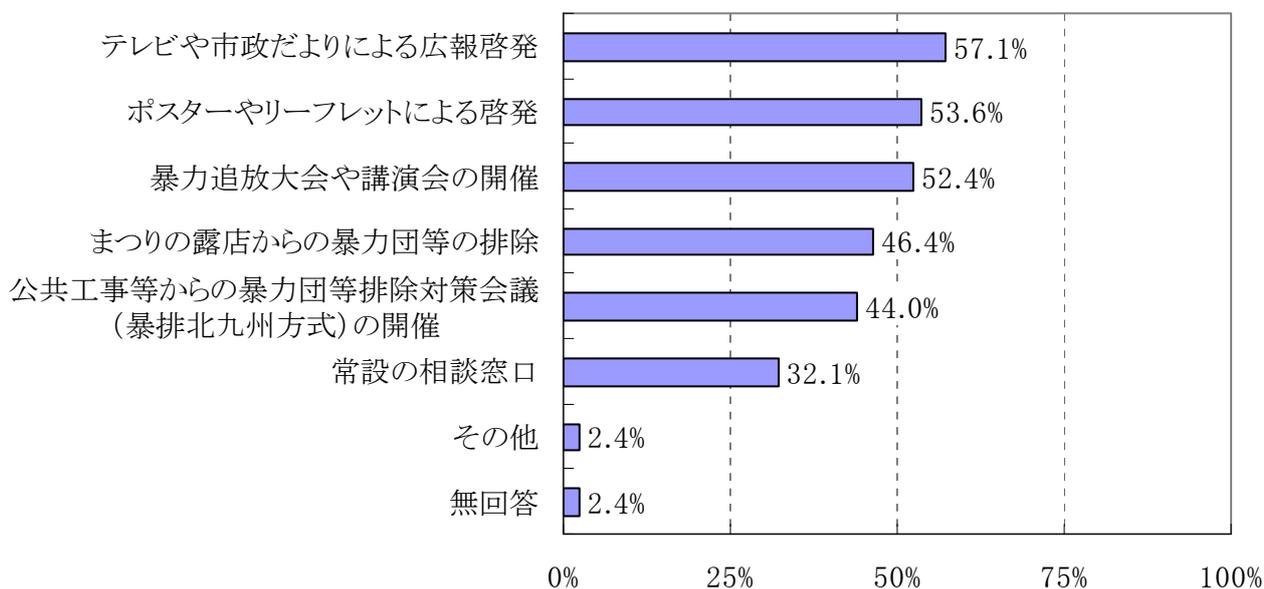


		回答者数	知っているし、利用したことがある	利用したことはないが、よく知っている	聞いたことがある	全く知らない
全体		140人	2.1%	15.0%	42.9%	40.0%
性別	男性	48人	6.3%	14.6%	50.0%	29.2%
	女性	92人	0.0%	15.2%	39.1%	45.7%
年齢別	20歳代	17人	0.0%	5.9%	41.2%	52.9%
	30歳代	38人	0.0%	2.6%	44.7%	52.6%
	40歳代	27人	0.0%	11.1%	44.4%	44.4%
	50歳代	14人	0.0%	21.4%	35.7%	42.9%
	60歳代	25人	8.0%	36.0%	32.0%	24.0%
	70歳以上	19人	5.3%	21.1%	57.9%	15.8%
区別	門司区	22人	0.0%	13.6%	45.5%	40.9%
	小倉北区	26人	0.0%	11.5%	50.0%	38.5%
	小倉南区	30人	3.3%	26.7%	36.7%	33.3%
	若松区	11人	0.0%	0.0%	45.5%	54.5%
	八幡東区	10人	0.0%	30.0%	10.0%	60.0%
	八幡西区	34人	0.0%	8.8%	52.9%	38.2%
	戸畑区	7人	28.6%	14.3%	28.6%	28.6%

「知っている」「聞いたことがある」の合計は60.0%で、前回の平成21年度調査の45.9%から増加し、「全く知らない」が前回の54.1%から40.0%に減少している。「全く知らない」の年齢別では、20歳代の52.9%が1番高いが前回の72.7%から減少している。

問2 <問1で「1 知っているし、利用したことがある」、「2 利用したことはないが、よく知っている」、「3 聞いたことがある」のいずれかを答えた方におたずねします。>

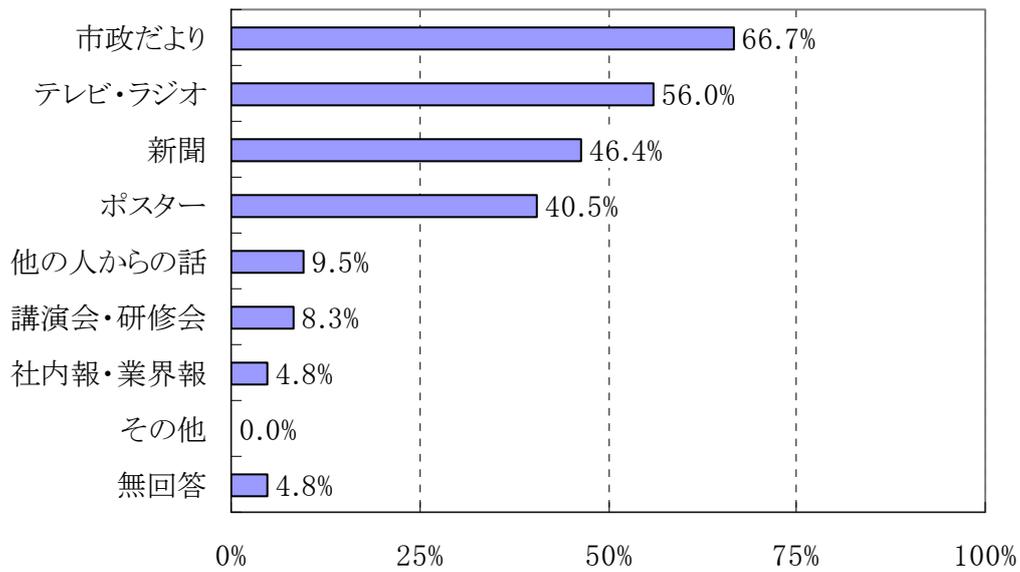
2 - 1 民事暴力相談センターの活動の中で、知っているものをいくつでも選んでください。



		回答者数	テレビや市政だよりによる広報啓発	ポスターやリーフレットによる啓発	暴力追放大会や講演会の開催	まつりの露店からの暴力団等の排除	公共工事等からの暴力団等排除対策会議(暴排北九州方式)の開催	常設の相談窓口	その他	無回答
全体		84人	57.1%	53.6%	52.4%	46.4%	44.0%	32.1%	2.4%	2.4%
性別	男性	34人	67.6%	47.1%	52.9%	41.2%	44.1%	23.5%	2.9%	5.9%
	女性	50人	50.0%	58.0%	52.0%	50.0%	44.0%	38.0%	2.0%	0.0%
年齢別	20歳代	8人	50.0%	25.0%	25.0%	37.5%	25.0%	50.0%	0.0%	12.5%
	30歳代	18人	38.9%	44.4%	27.8%	44.4%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%
	40歳代	15人	33.3%	53.3%	33.3%	26.7%	13.3%	6.7%	6.7%	6.7%
	50歳代	8人	50.0%	75.0%	62.5%	50.0%	87.5%	50.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	19人	84.2%	73.7%	78.9%	57.9%	63.2%	47.4%	5.3%	0.0%
	70歳以上	16人	75.0%	43.8%	75.0%	56.3%	62.5%	31.3%	0.0%	0.0%
区別	門司区	13人	69.2%	84.6%	53.8%	46.2%	53.8%	30.8%	0.0%	0.0%
	小倉北区	16人	62.5%	50.0%	31.3%	50.0%	37.5%	18.8%	0.0%	6.3%
	小倉南区	20人	55.0%	50.0%	70.0%	45.0%	35.0%	55.0%	10.0%	0.0%
	若松区	5人	40.0%	20.0%	40.0%	60.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	4人	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	21人	47.6%	42.9%	47.6%	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%	4.8%
	戸畑区	5人	60.0%	60.0%	60.0%	80.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%

1位、2位の「テレビや市政だよりによる広報啓発」「ポスターやリーフレットによる啓発」は前回の調査と順位は同じであるが、「暴力追放大会や講演会の開催」は6位から3位と認知度が上がっている。

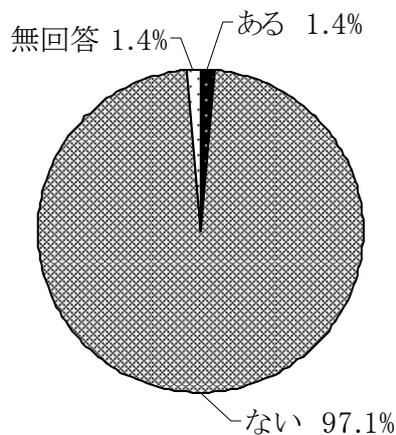
2 - 2 あなたは、その活動を何によって知りましたか。次の中からいくつでも選んでください。



		回答者数	市政だより	テレビ・ラジオ	新聞	ポスター	他の人からの話	講演会・研修会	社内報・業界報	その他	無回答
全体		84人	66.7%	56.0%	46.4%	40.5%	9.5%	8.3%	4.8%	0.0%	4.8%
性別	男性	34人	73.5%	61.8%	52.9%	35.3%	8.8%	5.9%	5.9%	0.0%	8.8%
	女性	50人	62.0%	52.0%	42.0%	44.0%	10.0%	10.0%	4.0%	0.0%	2.0%
年齢別	20歳代	8人	50.0%	50.0%	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	30歳代	18人	50.0%	50.0%	22.2%	33.3%	16.7%	5.6%	11.1%	0.0%	5.6%
	40歳代	15人	33.3%	33.3%	20.0%	53.3%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%
	50歳代	8人	75.0%	37.5%	25.0%	62.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%
	60歳代	19人	94.7%	78.9%	68.4%	42.1%	10.5%	21.1%	5.3%	0.0%	0.0%
	70歳以上	16人	87.5%	68.8%	87.5%	43.8%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	13人	76.9%	69.2%	46.2%	61.5%	23.1%	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%
	小倉北区	16人	62.5%	56.3%	56.3%	50.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%
	小倉南区	20人	75.0%	60.0%	45.0%	30.0%	5.0%	5.0%	10.0%	0.0%	5.0%
	若松区	5人	80.0%	40.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	4人	50.0%	75.0%	50.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	21人	52.4%	47.6%	38.1%	23.8%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%
	戸畑区	5人	80.0%	40.0%	60.0%	60.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%

「市政だより」と回答した人が、66.7%で前回と同様1位であるが、「テレビ・ラジオ」「新聞」が順位を1つずつ上げ、2位・3位となっている。

問3 あなた自身やあなたの家族・会社が、過去5年間に北九州市内において暴力団等から「ゆすり」「たかり」など、不当な要求を受けたことがありますか。  
また、受けたことがある方は、いつ頃ですか。

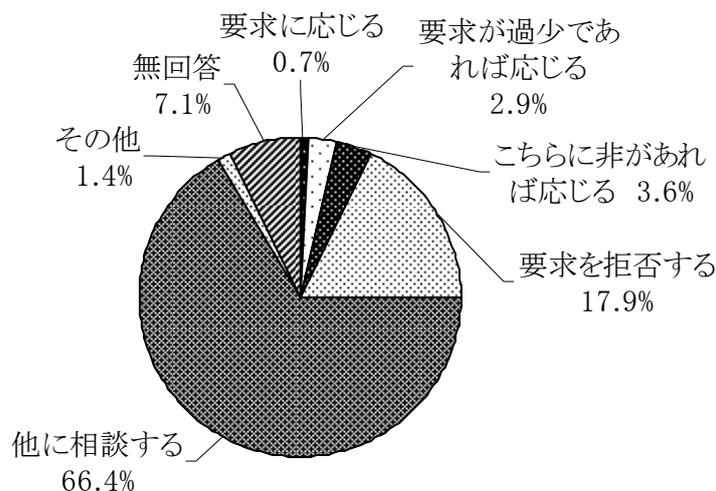


「ある」と答えた方は2人で、要求を受けた時期は、平成17年と平成18年でした。

		回答者数	ある	ない	無回答
全 体		140人	1.4%	97.1%	1.4%
性別	男 性	48人	0.0%	95.8%	4.2%
	女 性	92人	2.2%	97.8%	0.0%
年齢別	20歳代	17人	5.9%	94.1%	0.0%
	30歳代	38人	0.0%	100.0%	0.0%
	40歳代	27人	3.7%	92.6%	3.7%
	50歳代	14人	0.0%	92.9%	7.1%
	60歳代	25人	0.0%	100.0%	0.0%
	70歳以上	19人	0.0%	100.0%	0.0%
区 別	門司区	22人	0.0%	100.0%	0.0%
	小倉北区	26人	3.8%	92.3%	3.8%
	小倉南区	30人	0.0%	100.0%	0.0%
	若松区	11人	0.0%	100.0%	0.0%
	八幡東区	10人	10.0%	80.0%	10.0%
	八幡西区	34人	0.0%	100.0%	0.0%
	戸畑区	7人	0.0%	100.0%	0.0%

「ある」と答えた人は140人中2人で、前回調査より1人増加した。

問4 あなたは暴力団等から不当な要求があった場合、どのように対応しますか。1つだけ選んでください。



		回答者数	要求に応じる	要求が過少であれば応じる	こちらに非があれば応じる	要求を拒否する	他に相談する	その他	無回答
全体		140人	0.7%	2.9%	3.6%	17.9%	66.4%	1.4%	7.1%
性別	男性	48人	0.0%	2.1%	4.2%	25.0%	60.4%	0.0%	8.3%
	女性	92人	1.1%	3.3%	3.3%	14.1%	69.6%	2.2%	6.5%
年齢別	20歳代	17人	5.9%	11.8%	5.9%	29.4%	41.2%	0.0%	5.9%
	30歳代	38人	0.0%	5.3%	2.6%	2.6%	78.9%	0.0%	10.5%
	40歳代	27人	0.0%	0.0%	0.0%	14.8%	77.8%	3.7%	3.7%
	50歳代	14人	0.0%	0.0%	7.1%	14.3%	64.3%	0.0%	14.3%
	60歳代	25人	0.0%	0.0%	4.0%	20.0%	72.0%	0.0%	4.0%
	70歳以上	19人	0.0%	0.0%	5.3%	42.1%	42.1%	5.3%	5.3%
区別	門司区	22人	0.0%	0.0%	4.5%	27.3%	63.6%	0.0%	4.5%
	小倉北区	26人	0.0%	0.0%	7.7%	30.8%	57.7%	0.0%	3.8%
	小倉南区	30人	3.3%	3.3%	3.3%	16.7%	66.7%	3.3%	3.3%
	若松区	11人	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	72.7%	9.1%	0.0%
	八幡東区	10人	0.0%	0.0%	10.0%	20.0%	50.0%	0.0%	20.0%
	八幡西区	34人	0.0%	8.8%	0.0%	5.9%	73.5%	0.0%	11.8%
	戸畑区	7人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%	0.0%	14.3%

1位は「他に相談する」が66.4%で前回の76.0%から減少し、2位の「要求を拒否する」が17.9%で前回の16.4%から増加した。条件付きで「要求に応じる」の合計が7.2%で、前回の4.8%から2.4ポイント増加した。

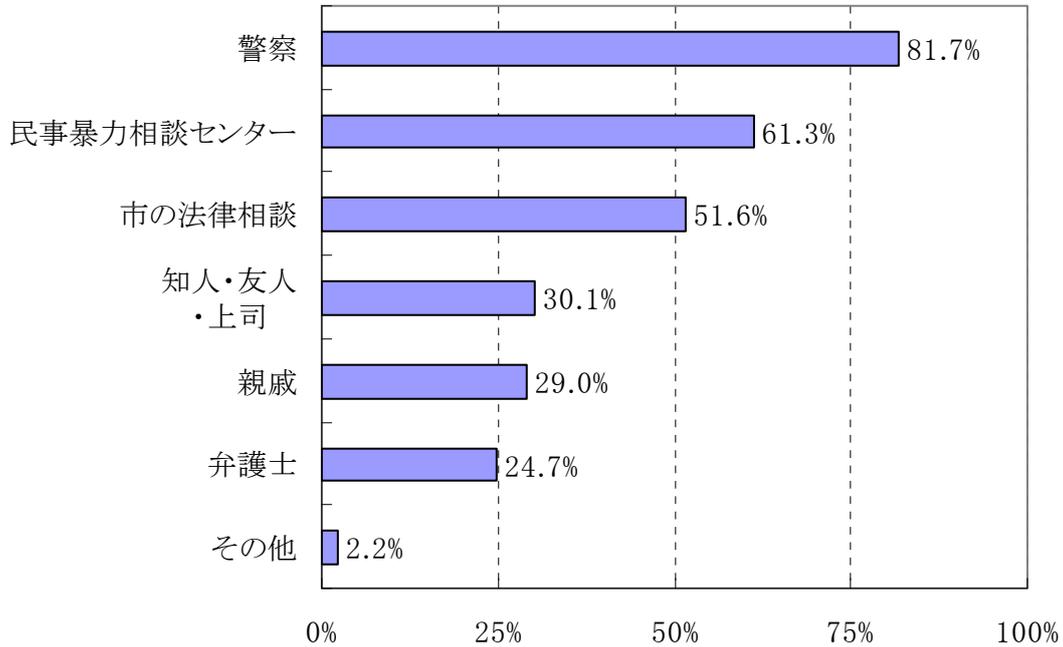
<問5は、問4で「1 要求に応じる」と答えた方におたずねします>

問5 要求に応じるのはなぜですか。1つだけ選んでください。

問4で「要求に応じる」と答えた方は1人で、回答は「1 怖いから」でした。

<問6は、問4で「5 他に相談する」と答えた方におたずねします>

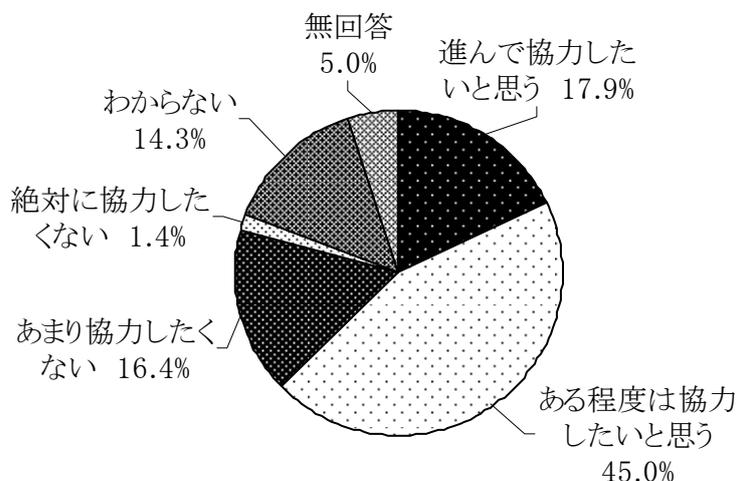
問6 そのことを誰(どこ)に相談しますか。次の中からいくつでも選んでください。



		回答者数	警察	民事暴力相談センター	市の法律相談	知人・友人・上司	親戚	弁護士	その他
全体		93人	81.7%	61.3%	51.6%	30.1%	29.0%	24.7%	2.2%
性別	男性	29人	75.9%	55.2%	51.7%	27.6%	20.7%	20.7%	3.4%
	女性	64人	84.4%	64.1%	51.6%	31.3%	32.8%	26.6%	1.6%
年齢別	20歳代	7人	71.4%	42.9%	42.9%	42.9%	28.6%	42.9%	0.0%
	30歳代	30人	90.0%	63.3%	46.7%	40.0%	53.3%	26.7%	3.3%
	40歳代	21人	81.0%	52.4%	52.4%	23.8%	9.5%	19.0%	4.8%
	50歳代	9人	77.8%	88.9%	66.7%	22.2%	22.2%	33.3%	0.0%
	60歳代	18人	83.3%	55.6%	44.4%	27.8%	27.8%	22.2%	0.0%
	70歳以上	8人	62.5%	75.0%	75.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%
区別	門司区	14人	71.4%	71.4%	35.7%	42.9%	35.7%	28.6%	0.0%
	小倉北区	15人	80.0%	33.3%	53.3%	33.3%	26.7%	20.0%	6.7%
	小倉南区	20人	80.0%	70.0%	45.0%	15.0%	35.0%	30.0%	0.0%
	若松区	8人	87.5%	62.5%	62.5%	37.5%	25.0%	12.5%	0.0%
	八幡東区	5人	80.0%	80.0%	80.0%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%
	八幡西区	25人	88.0%	60.0%	56.0%	28.0%	32.0%	28.0%	0.0%
	戸畑区	6人	83.3%	66.7%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%

「警察」と答えた人が81.7%で、前回と同様1位である。「民事暴力相談センター」が前回の37.8%から61.3%と増加し、前回3位から2位となった。

問7 あなたの住んでいるところで暴力追放の住民運動が起きたら、あなたは協力したいと思いますか。  
1つだけ選んでください。

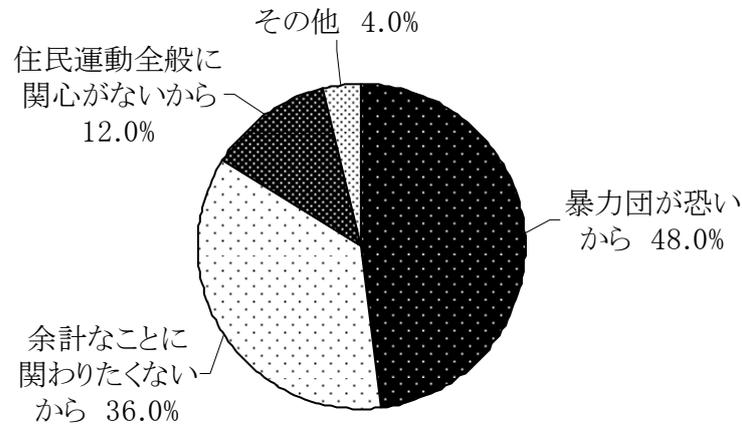


		回答者数	進んで協力したいと思う	ある程度は協力したいと思う	あまり協力したくない	絶対に協力したくない	わからない	無回答
全体		140人	17.9%	45.0%	16.4%	1.4%	14.3%	5.0%
性別	男性	48人	29.2%	52.1%	4.2%	0.0%	8.3%	6.3%
	女性	92人	12.0%	41.3%	22.8%	2.2%	17.4%	4.3%
年齢別	20歳代	17人	17.6%	23.5%	35.3%	0.0%	11.8%	11.8%
	30歳代	38人	5.3%	44.7%	26.3%	5.3%	13.2%	5.3%
	40歳代	27人	14.8%	51.9%	7.4%	0.0%	22.2%	3.7%
	50歳代	14人	7.1%	50.0%	21.4%	0.0%	14.3%	7.1%
	60歳代	25人	32.0%	52.0%	8.0%	0.0%	8.0%	0.0%
	70歳以上	19人	36.8%	42.1%	0.0%	0.0%	15.8%	5.3%
区別	門司区	22人	22.7%	45.5%	18.2%	0.0%	9.1%	4.5%
	小倉北区	26人	15.4%	42.3%	11.5%	3.8%	19.2%	7.7%
	小倉南区	30人	26.7%	36.7%	20.0%	0.0%	13.3%	3.3%
	若松区	11人	18.2%	36.4%	18.2%	0.0%	27.3%	0.0%
	八幡東区	10人	20.0%	50.0%	0.0%	0.0%	10.0%	20.0%
	八幡西区	34人	5.9%	52.9%	23.5%	0.0%	14.7%	2.9%
	戸畑区	7人	28.6%	57.1%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%

「進んで協力したい」「ある程度は協力したい」を合計すると62.9%で、前回の63.7%とほぼ横ばいである。また、「絶対に協力したくない」「あまり協力したくない」の合計は17.8%で、前回の21.3%から減少している。

<問8は、問7で「3 あまり協力したくない」又は「4 絶対に協力したくない」と答えた方におたずねします>

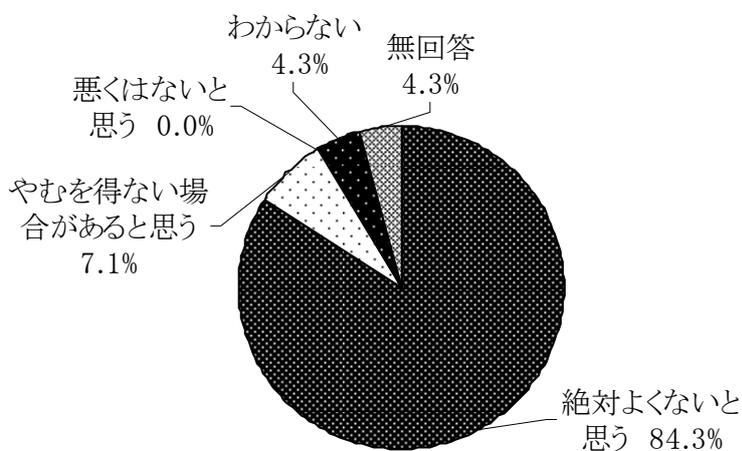
問8 協力したくないのは何故ですか。1つだけ選んでください。



		回答者数	暴力団が怖いから	余計なことに関わりたくないから	住民運動全般に関心がないから	その他
全体		25人	48.0%	36.0%	12.0%	4.0%
性別	男性	2人	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	女性	23人	47.8%	39.1%	8.7%	4.3%
年齢別	20歳代	6人	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%
	30歳代	12人	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	40歳代	2人	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	3人	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	60歳代	2人	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	70歳以上	0人	-	-	-	-
区別	門司区	4人	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	小倉北区	4人	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	小倉南区	6人	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%
	若松区	2人	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	0人	-	-	-	-
	八幡西区	8人	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%
	戸畑区	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

「暴力団が怖いから」が48.0%で、前回の51.6%から減少した。また、「余計なことに関わりたくないから」が36.0%で、前回の38.7%から減少した。しかし、「住民運動全般に関心がないから」が12.0%で、前回の6.5%より増加した。

問9 暴力団等を利用して、もめごとの処理を行う人がいますが、あなたはこのようなことについてどう考えますか。1つだけ選んでください。

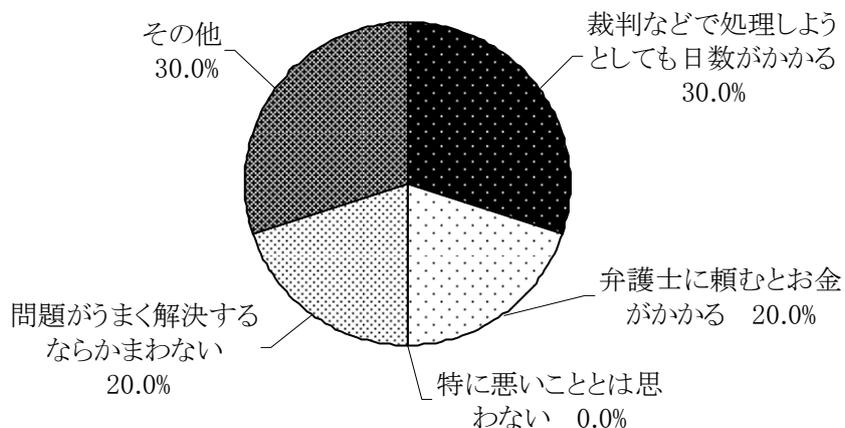


		回答者数	絶対よくないと思う	やむを得ない場合があると思う	悪くはないと思う	わからない	無回答
全体		140人	84.3%	7.1%	0.0%	4.3%	4.3%
性別	男性	48人	79.2%	10.4%	0.0%	2.1%	8.3%
	女性	92人	87.0%	5.4%	0.0%	5.4%	2.2%
年齢別	20歳代	17人	76.5%	11.8%	0.0%	5.9%	5.9%
	30歳代	38人	81.6%	13.2%	0.0%	5.3%	0.0%
	40歳代	27人	77.8%	7.4%	0.0%	7.4%	7.4%
	50歳代	14人	85.7%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%
	60歳代	25人	92.0%	4.0%	0.0%	0.0%	4.0%
	70歳以上	19人	94.7%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%
区別	門司区	22人	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉北区	26人	80.8%	0.0%	0.0%	11.5%	7.7%
	小倉南区	30人	86.7%	3.3%	0.0%	6.7%	3.3%
	若松区	11人	72.7%	9.1%	0.0%	9.1%	9.1%
	八幡東区	10人	70.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	八幡西区	34人	91.2%	8.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	戸畑区	7人	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%

「絶対によくない」が84.3%で、前回の76.7%から増加した。「やむを得ない場合がある」が7.1%で、前回の13.7%から減少した。「悪くはない」は前回と同様に一人もいなかった。

<問10は、問9で「2 やむを得ない場合があると思う」又は「3 悪くはないと思う」と答えた方におたずねします>

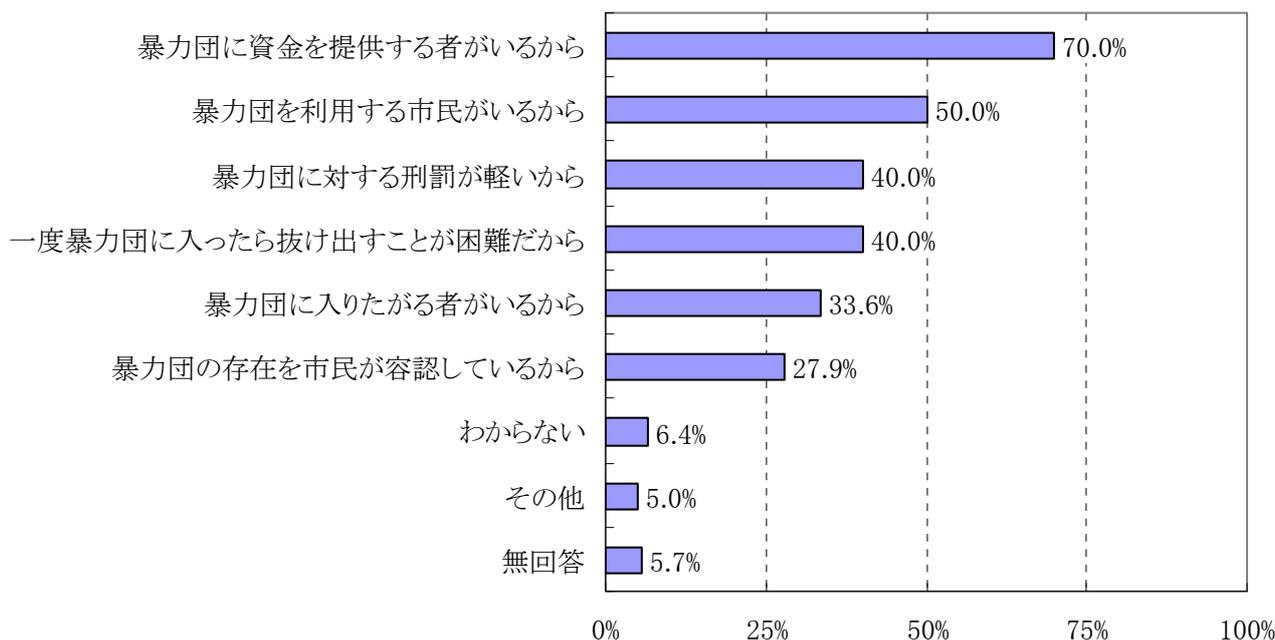
問10 そう思う理由は何ですか。1つだけ選んでください。



		回答者数	裁判などで処理しようとしても日数がかかる	弁護士に頼むとお金がかかる	特に悪いこととは思わない	問題がうまく解決するならかまわない	その他
全体		10人	30.0%	20.0%	0.0%	20.0%	30.0%
性別	男性	5人	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	40.0%
	女性	5人	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%
年齢別	20歳代	2人	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	30歳代	5人	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%
	40歳代	2人	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	50歳代	0人	-	-	-	-	-
	60歳代	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	0人	-	-	-	-	-
区別	門司区	2人	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	小倉北区	0人	-	-	-	-	-
	小倉南区	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	若松区	1人	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	八幡東区	1人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	3人	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%
	戸畑区	2人	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%

「やむを得ない場合がある」と回答した人は前回から減少しているものの、「問題がうまく解決するならかまわない」が2人いた。

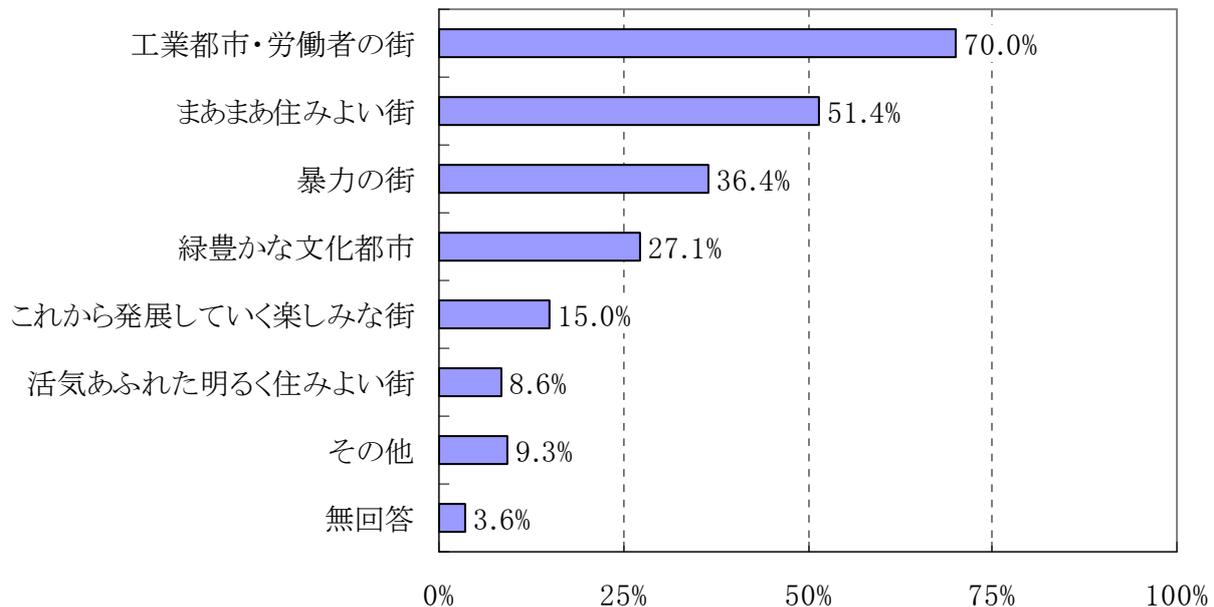
問11 あなたは、暴力団はどうして存在するのだと思いますか。次の中からいくつか選んでください。



		回答者数	暴力団に資金を提供する者がいるから	暴力団を利用する市民がいるから	暴力団に対する刑罰が軽いから	一度暴力団に入ったら抜け出すことが困難だから	暴力団に入りたがる者がいるから	暴力団の存在を市民が容認しているから	わからない	その他	無回答
全体		140人	70.0%	50.0%	40.0%	40.0%	33.6%	27.9%	6.4%	5.0%	5.7%
性別	男性	48人	60.4%	52.1%	47.9%	22.9%	35.4%	31.3%	4.2%	8.3%	12.5%
	女性	92人	75.0%	48.9%	35.9%	48.9%	32.6%	26.1%	7.6%	3.3%	2.2%
年齢別	20歳代	17人	76.5%	47.1%	41.2%	41.2%	41.2%	17.6%	5.9%	0.0%	5.9%
	30歳代	38人	65.8%	47.4%	44.7%	39.5%	36.8%	18.4%	10.5%	10.5%	2.6%
	40歳代	27人	66.7%	33.3%	22.2%	40.7%	25.9%	14.8%	7.4%	7.4%	3.7%
	50歳代	14人	64.3%	50.0%	7.1%	42.9%	35.7%	35.7%	7.1%	0.0%	7.1%
	60歳代	25人	76.0%	60.0%	56.0%	40.0%	32.0%	52.0%	4.0%	4.0%	4.0%
	70歳以上	19人	73.7%	68.4%	57.9%	36.8%	31.6%	36.8%	0.0%	0.0%	15.8%
区別	門司区	22人	95.5%	54.5%	50.0%	31.8%	36.4%	31.8%	0.0%	9.1%	0.0%
	小倉北区	26人	61.5%	42.3%	30.8%	34.6%	23.1%	34.6%	7.7%	3.8%	7.7%
	小倉南区	30人	76.7%	60.0%	60.0%	50.0%	36.7%	33.3%	3.3%	0.0%	3.3%
	若松区	11人	54.5%	36.4%	27.3%	36.4%	27.3%	18.2%	9.1%	18.2%	9.1%
	八幡東区	10人	60.0%	50.0%	40.0%	50.0%	40.0%	40.0%	10.0%	0.0%	10.0%
	八幡西区	34人	55.9%	50.0%	29.4%	41.2%	35.3%	14.7%	11.8%	5.9%	8.8%
	戸畑区	7人	100.0%	42.9%	28.6%	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%

「暴力団に資金を提供する者がいるから」「暴力団を利用する市民がいるから」が前回と同様1位、2位であるが、「暴力団に対する刑罰が軽いから」が前回から3ポイント増加して、3位となっている。

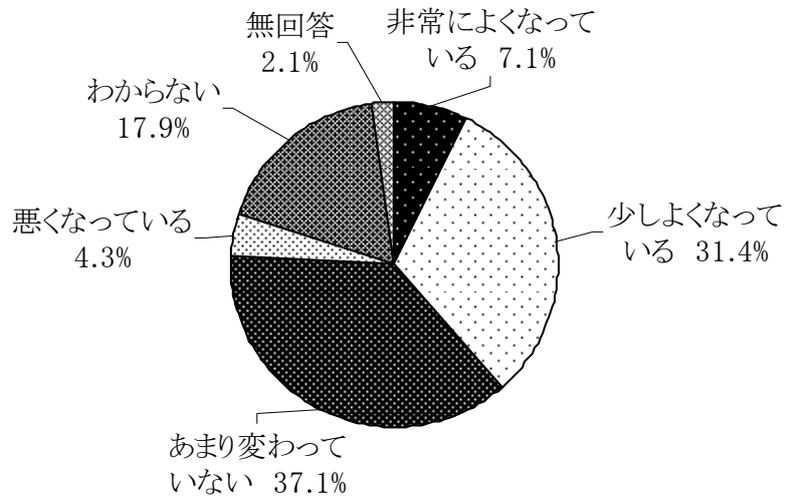
問12 あなたは、北九州市に対してどんな都市イメージをもっていますか。  
次の中からいくつでも選んでください。



		回答者数	工業都市・労働者の街	まあまあ住みよい街	暴力の街	緑豊かな文化都市	これから発展していく楽しみな街	活気あふれた明るく住みよい街	その他	無回答
全体		140人	70.0%	51.4%	36.4%	27.1%	15.0%	8.6%	9.3%	3.6%
性別	男性	48人	75.0%	50.0%	39.6%	16.7%	14.6%	10.4%	10.4%	6.3%
	女性	92人	67.4%	52.2%	34.8%	32.6%	15.2%	7.6%	8.7%	2.2%
年齢別	20歳代	17人	64.7%	47.1%	41.2%	35.3%	17.6%	17.6%	0.0%	5.9%
	30歳代	38人	78.9%	44.7%	42.1%	21.1%	10.5%	2.6%	13.2%	5.3%
	40歳代	27人	81.5%	33.3%	25.9%	37.0%	14.8%	7.4%	11.1%	3.7%
	50歳代	14人	42.9%	57.1%	21.4%	35.7%	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%
	60歳代	25人	68.0%	72.0%	36.0%	24.0%	28.0%	12.0%	8.0%	0.0%
	70歳以上	19人	63.2%	63.2%	47.4%	15.8%	10.5%	10.5%	10.5%	0.0%
区別	門司区	22人	63.6%	50.0%	40.9%	36.4%	27.3%	4.5%	13.6%	0.0%
	小倉北区	26人	61.5%	53.8%	34.6%	34.6%	11.5%	11.5%	0.0%	3.8%
	小倉南区	30人	73.3%	56.7%	43.3%	23.3%	13.3%	13.3%	13.3%	3.3%
	若松区	11人	81.8%	36.4%	45.5%	18.2%	27.3%	18.2%	18.2%	0.0%
	八幡東区	10人	70.0%	50.0%	30.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	八幡西区	34人	73.5%	47.1%	29.4%	26.5%	8.8%	2.9%	8.8%	5.9%
	戸畑区	7人	71.4%	71.4%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%

前回と順位は変わらないが、2位の「まあまあ住みよい街」が51.4%で、前回の62.3%から減少し、3位の「暴力の街」が36.4%で、前回の29.5%から増加している。

問 13 北九州市では、警察その他の関係機関・団体と連携し、暴力追放運動に積極的に取り組んでいます  
が、以前と比べて変わったと思いますか。



		回答者数	非常によくなっている	少しよくなっている	あまり変わっていない	悪くなっている	わからない	無回答
全体		140人	7.1%	31.4%	37.1%	4.3%	17.9%	2.1%
性別	男性	48人	8.3%	27.1%	41.7%	8.3%	10.4%	4.2%
	女性	92人	6.5%	33.7%	34.8%	2.2%	21.7%	1.1%
年齢別	20歳代	17人	0.0%	17.6%	35.3%	5.9%	29.4%	11.8%
	30歳代	38人	2.6%	31.6%	44.7%	5.3%	15.8%	0.0%
	40歳代	27人	14.8%	37.0%	29.6%	3.7%	14.8%	0.0%
	50歳代	14人	14.3%	21.4%	35.7%	0.0%	21.4%	7.1%
	60歳代	25人	12.0%	36.0%	28.0%	8.0%	16.0%	0.0%
	70歳以上	19人	0.0%	36.8%	47.4%	0.0%	15.8%	0.0%
区別	門司区	22人	9.1%	18.2%	50.0%	0.0%	22.7%	0.0%
	小倉北区	26人	0.0%	50.0%	38.5%	0.0%	7.7%	3.8%
	小倉南区	30人	13.3%	20.0%	40.0%	6.7%	20.0%	0.0%
	若松区	11人	9.1%	18.2%	63.6%	9.1%	0.0%	0.0%
	八幡東区	10人	20.0%	30.0%	10.0%	10.0%	30.0%	0.0%
	八幡西区	34人	0.0%	35.3%	29.4%	5.9%	23.5%	5.9%
	戸畑区	7人	14.3%	57.1%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%

「よくなっている」の合計が38.5%で、前回の36.3%から増加している。また、「悪くなっている」も4.3%で、前回の1.4%から増加している。

問14 暴力追放について、その他ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

72件の記入があり、主なものは次のとおりです。

- ・ 暴力団に断固たる拒否の姿勢が見え、発砲事件後、たくさんの行動を起こしていただいてありがたく思っている。市民としても、一人の力ではどうにもならないことがたくさんの協力で動かせるものだと感じている。
- ・ 法治国家だから致し方ないが、正業に就かず、人の過ちや、過失をネタにお金にしようと言う輩は許せない。徹底的に資金源を断つ法や、政策を作るべき。先ず一般市民に対してこのような不法行為は許せないと云う強いメッセージを発して、全市民がその気迫を共有する必要があるのでは？
- ・ 警察の取り組みが一時的であまいと思う。徹底的に常時取り締まりを行い、暴力追放に徹底的に取り組むべきである。防犯カメラの取り付けを強化することも大事である。
- ・ 暴力追放などと言ってはいるが、市の調査も甘いと思う。市営団地に暴力団が入居していたり、市の仕事（世帯調査など）を何年も暴力団がやっていたり、絶対にあってはいけないことだと思う。
- ・ 暴力追放の集会を開いたり、実際に貫の事務所を撤退させたり非常によくがんばっていると思う。市外の一とからみたら怖い街だと思われるが、福祉も充実しているし住みやすい街だということをもっとアピールできたらいいと思う。
- ・ 警察、行政、市民が一丸となって、工藤会の本拠を北九州から排除しない限り、「暴力団の町北九州」のイメージは払拭できない。
- ・ 県外の方から、北九州市はガラが悪い、怖い街だと言われることがよくあります。発砲事件や、暴力団関係の事件など、県外で放送されるニュースのイメージが良くないため、このような印象を持たれがちだと感じています。環境都市としてアジアをリードしていくべく取り組んでいる北九州市のもっと良い面があるので、広報活動をとおして、北九州市のイメージアップを行って欲しいと思います。安全で安心して暮らせる街づくりを期待しています。
- ・ パフォーマンスだけで実行と実行力が全く感じられない。条例や法律を整備して強制力を持って追放すべきだ。また、県警は銃や爆弾に対しては、武力を持って暴力団を弾圧するべきです。彼らの行為はテロ活動そのものなのですから。
- ・ 暴力関係では県別ワーストに入るのをよく耳にするので、どうにかして暴力追放をしてほしい。罪を重くしてもいいと思う。
- ・ 新しく暴力団に入る人が絶対に生まれないう、小学校から中学校までの間に、暴力団がどれ程社会悪を起こす怖い存在か、また、入ると、抜けるのが困難な怖いものであることを徹底して学校で教えて欲しいと思います。街を良くするだけでなく、一人一人の子供を救う大切な教育だと思います。

- ・ 暴力追放は難しい問題であると思う。いつか暴力追放に協力した店が嫌がらせを受け閉店に追い込まれたと記憶している。暴力追放に関わるのはとても勇気がいると思う。
- ・ 北橋市長や市民がよく取り組んでいることがテレビ等で報道されている様子を見ると、良いことだと思います。積極的にこのような報道をしてPRしていくのが良いことだと思います。また、公共事業への介入や土木・建設工事等への介入、民事への介入などにも排除する施策を積極的にアピールするのがいいと思います。
- ・ 暴力団が存在するのは、必要とする人、必要とされる状況があるからだと思います。だとすれば、暴力団がなくなったとき、それまで必要としていた人や必要とされる状況が他の手段によって救われるモノが必要です。暴力団相談機関の充実だけでなく、暴力団構成員の更生への道も確保する必要があると思います。
- ・ 北九州市は積極的に暴力追放に携わり、TV、新聞等で心強く感じています。一市民として日常は目にしない事も先日の黒崎祇園では一見それらしき人がスナック等の前に立ち並んでいると気持ちの良いものではありませんでした。にぎやかな夜の街で防犯腕章（黄色）をつけた数人の方が青少年に声をかけられている姿を見て少し安心した次第です。これからも住みよい街北九州を応援していきます。

#### IV 全体考察

民事暴力相談センターは、昭和62年10月に暴力団等からの被害を受けた市民や企業が気軽に相談できる行政の窓口として、全国に先駆けて開設した。

また、暴力団対策で、福岡県警察本部も平成22年1月に刑事部内にあった組織犯罪対策局を部に格上げし、「暴力団対策部」を発足、「北九州地区暴力団特別捜査室」を「北九州地区暴力団犯罪捜査課」に格上げし、暴力団の弱体化・壊滅に向けた体制を強化し重点的に取り組んでいる。

さらに、福岡県では平成22年4月に全国初となる罰則規定を盛り込んだ「福岡県暴力団排除条例」を施行し、本市でも同年7月に市民が安全で安心して暮らせる社会の実現、社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的に「北九州市暴力団排除条例」を施行したところである。

このアンケートでは、本市が県警察、市民と緊密に連携して推進している暴力団対策の市民の認知状況及び民事介入暴力や被害相談の状況を調査し、今後の取り組みに活かすために実施した。

その結果は、民事暴力センターの認知度では60%と前回の平成21年度調査の45.9%から増加し、「全く知らない」は前回の54.1%から40.0%に減少している。特に前回の20～30歳代の「全く知らない」との回答が約7割から5割に減少し、改善が見られる。「市政だより」「テレビ・ラジオ」「新聞」などが認知度を高めるものとなっている。

民事介入暴力の状況では、暴力団からの不当な要求を受けた経験者は2人であった。仮に不当な要求を受けた場合の対応では、「他に相談する」が66.4%と圧倒的に多く、「要求を拒否する」が2位で17.9%であった。条件付きで「要求に応じる」との回答が7.2%あり、前回調査から2.4ポイント増加した。また、相談相手は、警察、民事暴力相談センター、市の法律相談の順となっており、友人や親・親戚など身の回りの人よりも、行政機関を頼りにしている姿がみえる。

暴力団追放の住民運動への参加意識では、参加協力について肯定的な意見が、前回の63.7%から62.9%とほぼ横ばいで、否定的な意見が21.3%から17.8%に減少している。

参加に否定的な理由は、「暴力団が怖いから」が48.0%、「余計なことに関わりたくない」が36.0%と前回と同様1位、2位で前回から減少しているものの、前回と同じ3位の「住民運動全般に関心がない」が12.0%で前回の6.5%から増加しているなど、無関心層が一定数いることが窺える。

しかし、もめごとの処理に暴力団を利用することの可否については、「絶対によくないと思う」が、76.7%から84.3%に増加し、「やむを得ない場合があると思う」が13.7%から7.1%に減少しており、暴力団との関わりを容認する市民意識が改善したことがうかがえる。

暴力団の存在については、暴力団に「資金を提供する者がいるから」「利用する市民がいるから」「刑罰が軽いから」などが上位を占め、暴排活動の根幹を理解していると思われる。

都市イメージの項目では、「暴力の街」が36.4%で、前回の29.5%から6.9%増加し、度重なる銃発砲事件などが「暴力の街」として印象付けたものと見られる。事件発生に合わせ適時に行われる暴力追放運動や小倉南区貫地区の暴力団事務所の完全撤去が実現したことによって、まちが以前と比べて「よくなっている」と感じている意見が、前回の36.3%から38.5%に増加しているものの、一方で事件が及ぼす影響から「悪くなっている」も1.4%から4.3%に増加している。

「北九州市暴力団排除条例」が施行し1年が経ち、暴力団を利用して、もめごとの処理を行う人へは、「絶対によくない」が増加し85%に達しており、暴力団の存在が「資金を提供する者がいるから」「利用する市民がいるから」など暴排に対する市民の理解が進んでいることがうかがえた。「刑罰が軽いから」とする法改正や防犯カメラの設置強化など新たな課題も見られた。

今後は、民事暴力相談センターの認知度をさらに高めるとともに、「北九州市暴力団排除条例」にもとづく暴力団排除の広報・啓発活動の一層の強化が求められる。

**【市政モニターに関すること】**

市民文化スポーツ局市民部広聴課 (TEL : 5 8 2 - 2 5 2 5 )

**【アンケートに関すること】**

市民文化スポーツ局民事暴力相談センター

(TEL : 5 8 2 - 2 3 0 5 )